

事務事業評価調書

事務事業名	労働相談事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和48年度	改正 内容	委託先の大阪府社会保険労務士会と大阪弁護士会の委託割合の見直し											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	勤労者・学生・事業主及び一般市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	労働全般にわたる諸問題について、解決につながる支援をする												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	勤労者の安定した生活と福祉の充実につながる												
(7)	事業概要	毎週水曜日、午後1時から4時まで、解雇・給料未払い・各種ハラスメント・ブラックバイト・労災・人事労務など、職場で生じた労働全般にわたる様々な問題について、社会保険労務士(第1・3・4・5)と弁護士(第2)による専門的な助言と指導を行う													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	5	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		771	770	770	769	792							
		人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.30	0.30	0.40						
			総額(B)	千円	3,320	3,179	2,506	2,506	3,268						
		総事業費(A+B)		4,091	3,949	3,276	3,275	4,060							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		4,091	3,949	3,276	3,275	4,060							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	4,091		3,949	3,276	3,275	4,060									
財源計(C+D)		4,091	3,949	3,276	3,275	4,060									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府社会保険労務士会										
				②	大阪弁護士会										
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 相談枠	目標値	(単位: 枠)	300.00	288.00	/
			実績値	(単位: 枠)	85.00	70.00	
		達成度(%)		28.3	24.3		
	目標値の積算方法 年間実施日数×6枠	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	46.46	46.79		
			一般財源(単位: 千円)	46.46	46.79		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	相談利用者の問題や課題を解決する			達成状況	相談者を対象に実施したアンケートでは、課題整理に役立った等の回答が得られている
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		労使関係のある限り、恒常的に起こりうる労働問題について、雇用主としての義務や責任を求められる事業主とあわせ、様々な労働問題に直面する労働者が、より適切な解決に向けた相談と課題の整理を行える本事業は、今後も継続して実施する必要がある。本事業を、専門家である大阪弁護士会及び大阪府社会保険労務士会に委託実施し、質の高い相談の場を提供している。				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	労働相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00218				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00218
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>多様化する雇用形態やブラック企業、また各種ハラスメントなど、労働者を取り巻く環境は年々変化しており、労働分野における問題も複雑化し社会問題にもなっていることから、労働問題についての相談者は増加してきている。</p> <p>なお、平成27年度に実施した労働事情調査では、労働問題について相談ができる各公的相談機関について、本市で実施する労働相談の認知度は42.9%であった。今後も引き続き、認知度を向上させ広く活用していただけるようPRする必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	特定退職金共済補助事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和61年度	改正内容	機構改革に伴う一部改正											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市特定退職金共済事業補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田商工会議所											
	目標(どういう状態にしたいのか)	制度の運営にかかる事務費の一部を補助することにより、事業の充実を図る												
	結果(どのような効果が得られるのか)	勤労者の福祉の増進と中小企業の振興を図る												
(7) 事業概要	一般従業員及びパートタイム労働者を加入者として実施される特定退職金共済事業に対して、納入された共済掛金の100分の2を補助することにより、従業員の福祉の増進と中小企業の振興を図る													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	5	項	1	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,400	1,166	1,344	1,160	1,290							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
	総事業費(A+B)		2,230	1,961	2,180	1,996	2,107							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国	0	0	0	0	0						
			府	0	0	0	0	0						
		その他	0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		2,230	1,961	2,180	1,996	2,107						
			地方債	0	0	0	0	0						
			その他	0	0	0	0	0						
		一般財源	2,230	1,961	2,180	1,996	2,107							
財源計(C+D)		2,230	1,961	2,180	1,996	2,107								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田商工会議所											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	延べ加入者数	目標値	(単位:人)	17,500.00	16,800.00	16,125.00
			実績値	(単位:人)	16,740.00	16,742.00	/	
		達成度(%)			95.7	99.7		
	目標値の積算方法	過去の実績から	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.12		0.12
				一般財源(単位:千円)		0.12	0.12	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	延べ加入者数	目標値	(単位:口)	70,000.00	67,200.00
	実績値			(単位:口)	58,320.00	57,995.00	/	
	達成度(%)			83.3	86.3			
	目標値の積算方法	平均4口/人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.03		0.03
				一般財源(単位:千円)		0.03	0.03	
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		<p>本事業は、加入者が負担する掛金に占める事務費(3%)のうち、2%分について補助を行うことにより、加入者に対する実質給付の割合を高める効果があることから、事業基盤の脆弱な中小企業に勤める従業員の退職後の生活を支える観点から、今後も継続して実施する必要がある。</p>						

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	特定退職金共済補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00219				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	8	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00219
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justness), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 15, 有効性: 18, 効率性: 10, 公平性: 18, 持続可能性: 12.</p>		
(3)現状分析	<p>不安定就労が増加し、労働者を取り巻く環境が変化する中、中小企業に働く労働者の環境も厳しい状況が続いている。本制度は、独自で退職金制度を維持することができない中小企業の従業員の雇用の安定及び福祉の増進に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

中小企業従業員の福祉の増進と中小企業の振興を図るという目的に沿う他の事業・取組みとの連携や事業手法については検討の余地がある。

事務事業評価調書

事務事業名	啓発事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和48年度	改正 内容	男女共同参画推進事業、労働関連施策地域展開事業と事業統合を行った											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活カあふれにぎわいのあるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内事業所及び勤労者(市民)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	労働問題全般にわたる啓発及び情報提供により、必要な知識と理解を深める												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	勤労者の安定した生活と福祉の向上を図る												
		市内事業所及び勤労者に対して、労働問題全般にわたる啓発・情報提供を行うために、吹田市ホームページでの情報提供や啓発リーフレットを発行し、広く啓発を行うとともに、必要な知識や理解を深める一助とする													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	5	項	1	目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		154	115	154	141	154							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.30	0.30	0.50						
			総額(B)	千円	4,150	3,974	2,506	2,506	4,085						
		総事業費(A+B)		4,304	4,089	2,660	2,647	4,239							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		(内訳)	その他		0	0	0	0	0						
			市負担(D)		4,304	4,089	2,660	2,647	4,239						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源		4,304	4,089	2,660	2,647	4,239									
財源計(C+D)		4,304	4,089	2,660	2,647	4,239									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	リーフレットやハンドブック等の発行部数	目標値	(単位:部)	7,000.00	7,000.00	7,000.00
			実績値	(単位:部)	6,900.00	8,900.00	/	
		達成度(%)				98.6		127.1
	目標値の積算方法	予算ベース(平成28年度)での発行部数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.59		0.30
				一般財源(単位:千円)		0.59	0.30	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	より多くの市民に向けて、労働問題全般や情報提供をセミナーやリーフレットを通して行う	目標	労働についての知識と理解を深める			
より多くの市民が労働に関する知識と理解を深め、より安定した心豊かな生活を営むための環境を作る			達成状況	確認手段なし				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		労働関連法の改正や労働者のための制度等の情報を適切に啓発することは、労働者をはじめ、市民の生活の安定に資するものであり、今後も継続していく必要がある。 費用対効果については測り難いが、冊子等の情報提供物の印刷に必要な経費のみであり、適当であると考えている。					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00220				

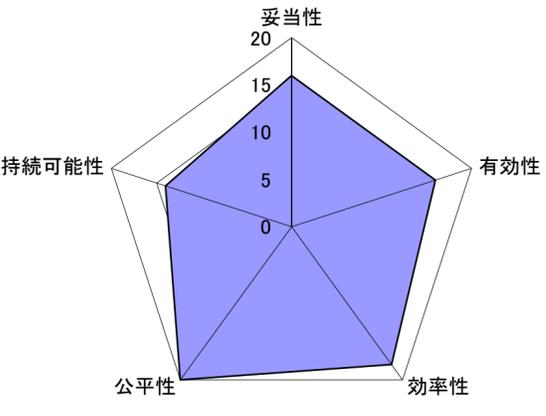
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00220
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>多様化する雇用形態や最低賃金、労働法等の改正など、労働者を取り巻く環境は年々変化している。そのような中、従業員が働きやすい職場環境を整備するための法制度や、労働者が自らの身分や生活を守るために必要な情報等を適切に提供し、周知・啓発していくことは労働者をはじめ市民の生活の安定に資するものである。</p> <p>なお、平成27年度に実施した労働事情調査では、市に求められる労働に関する啓発テーマとして、「労働者の確保」、「ブラック企業対策」、「女性の活躍」、「ワーク・ライフ・バランス」、「職場の安全配慮」等があげられた。今後も読み手にとっても関心の高いテーマを取り上げ、啓発を進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

中小企業従業員の福祉の増進と中小企業の振興を図るという目的に沿う他の事業・取組みとの連携や事業手法については検討の余地がある。

事務事業評価調書

事務事業名	地域就労支援事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正 内容	職業紹介事業を、市直営の無料職業紹介事業として実施											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	雇用対策法、職業安定法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	2	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	求職者及び就職困難者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	①相談により、就労阻害要因の整理と解決に向けたサポートを行う ②セミナーや講習等により意識やスキルを高める ③市内企業を中心とした求人についての職業紹介により、就職する												
(7) 事業概要	子育て中の求職者や障がい者、ニート、ひきこもり、若年者、中高年齢者等の個々の求職者の状況に応じ、相談やスキルアップの支援、情報提供等の就職活動のサポートから職業紹介まで、トータルに就労支援を行う													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	5	項	1	目	1	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		67,797	66,009	68,114	66,681	67,996							
	人件費	職員数	人	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
		総額(B)	千円	9,960	9,537	10,023	10,023	9,804						
	総事業費(A+B)		77,757	75,546	78,137	76,704	77,800							
	特定財源(C)		6,926	6,923	6,535	6,535	6,911							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	6,861	6,861	6,485	6,485	6,861							
		その他	65	62	50	50	50							
	市負担(D)		70,831	68,622	71,602	70,169	70,889							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		70,831	68,622	71,602	70,169	70,889								
財源計(C+D)		77,757	75,545	78,137	76,704	77,800								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (株)パソナ											
			② 吹田市きしべ地域人権協会											
			③ 特定非営利活動法人 フルハウス											
			主な委託内容	就労支援・就労相談等の業務										
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 JOBナビすいた来所者	目標値	(単位:人)	7,731.00	6,994.00	5,853.00
			実績値	(単位:人)	6,791.00	5,683.00	
			達成度(%)		87.8	81.3	
	目標値の積算方法	平成27年度実績×1.03(3%増)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.14	13.50
				一般財源(単位:千円)		10.12	12.35
	②	指標内容 訪問企業数及び来所企業数 <平成25年度から新たに目標値として設定>	目標値	(単位:件)	240.00	240.00	240.00
実績値			(単位:件)	176.00	211.00		
達成度(%)			73.3	87.9			
目標値の積算方法		1件×20日×12ヶ月	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		429.71	363.53
	一般財源(単位:千円)				390.37	332.55	
(2) 成果指標	①	指標内容 JOBナビすいた利用者の就職者数	目標値	(単位:人)	595.00	623.00	602.00
			実績値	(単位:人)	605.00	585.00	
			達成度(%)		101.7	93.9	
	目標値の積算方法	平成27年度実績×1.03(3%増)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		125.01	131.12
				一般財源(単位:千円)		113.56	119.95
	②	指標内容 マッチング率(=就職決定数/職業紹介件数)	目標値	(単位:%)	40.00	47.00	40.00
			実績値	(単位:%)	46.60	34.30	
			達成度(%)		116.5	73.0	
目標値の積算方法		過去の実績を基に設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,622.94	2,236.27
	一般財源(単位:千円)				1,474.36	2,045.74	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		求職者の就労を促進することで、市民の自立をすすめるとともに、地域経済の活性化に資することができる。厳しい雇用情勢が続くなか、今後も継続して市民のための就労支援を実施していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	地域就労支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00221				

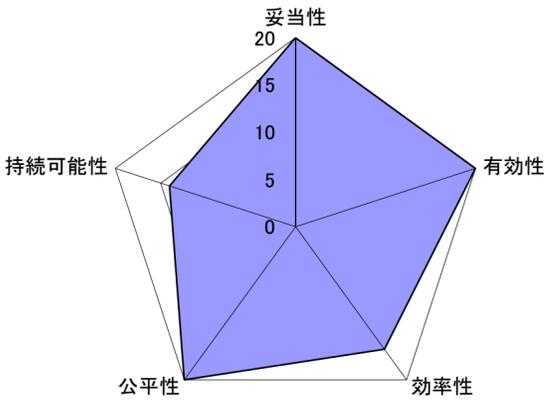
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00221
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域の実情に応じた雇用対策への充実が求められる中、市民の就労を進めるとともに、就職困難者等の自立に向けた支援を行う事業であり、市内事業所の継続した人材供給や雇用安定に寄与しており、しいては地域経済に資するものである。 なお、今後利用者の方に広く活用していただくためにも、地元の魅力的企業の開拓や、学生や子育て世代の求職者等へのPRなど広報活動をさらに工夫をして取り組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

吹田市と国(大阪労働局)の緊密な連携により、大学生をはじめとする若者、子育て女性及び介護・看護・保育等の人材不足分野に対する就職促進及び市内企業等での活躍推進を図るため、雇用対策に関する施策を総合的、一体的に実施することを目的として、平成28年5月16日に、「吹田市雇用対策協定」を締結。

事務事業評価調書

事務事業名	勤労者会館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和60年度	改正内容	施設使用料の改定及び運営審議会の廃止											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立勤労者会館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	勤労者(市民)											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	勤労者に対する余暇活動の支援や勤労者のための事業を行うことにより、勤労者の福祉の増進と雇用の安定を目指す												
(7) 事業概要	吹田市立勤労者会館の設置目的を達成するために、指定管理者制度を導入し、勤労者の文化教養の向上、余暇活動の充実のために必要な情報提供、および知識・技能を習得するための各講座・事業等を実施する													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	5	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		100,539	96,234	100,552	98,228	103,044							
	人件費	職員数	人	0.80	0.80	0.80	0.80							
		総額(B)	千円	6,640	6,358	6,682	6,682							
	総事業費(A+B)		107,179	102,592	107,234	104,910	109,580							
	特定財源(C)		19,362	21,203	21,231	20,114	21,202							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	19,362	21,203	21,231	20,114	21,202							
	市負担(D)		87,817	81,389	86,003	84,796	88,378							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		87,817	81,389	86,003	84,796	88,378								
財源計(C+D)		107,179	102,592	107,234	104,910	109,580								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社 コナミスポーツクラブ										
			②											
			③											
	主な委託内容		施設の管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 集会施設利用件数	目標値	(単位:件)	7,000.00	7,000.00	7,000.00
			実績値	(単位:件)	6,082.00	5,907.00	/
		達成度(%)		86.9	84.4		
	目標値の積算方法 運営日数×10室×0.8	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	16.87	17.76		
			一般財源(単位:千円)	13.38	14.36		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 利用者数	目標値	(単位:人)	180,000.00	180,000.00
	実績値			(単位:人)	144,351.00	134,307.00	/
	達成度(%)		80.2	74.6			
	目標値の積算方法 600人/日×300日/年(過去の実績から)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.71	0.78		
			一般財源(単位:千円)	0.56	0.63		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>地域における認知度もあり、常に高い稼働率を維持している。また施設の指定管理者によるさまざま事業など、更なる利用者へのサービス向上に努めており、今後も継続する必要がある。 ただし、施設設置以来、これまでに大規模改修が行われていないことから、経年の使用による施設の老朽化は否めず、今後も活発な施設利用に応じていくには、公共施設の最適化の動向を踏まえて、改修の検討を行う必要があると考える。</p>				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	勤労者会館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00222				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00222
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設利用は、本来の利用対象者である勤労者や労働団体の使用に支障の無い範囲で地域の利用も受け入れており、会議室・温水プールともに活発に利用され、常に高い稼働率を維持している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

集会施設部分の毎日会館等の要望がある。

事務事業評価調書

事務事業名	大阪府北部農業共済組合負担金事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成11年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	農業災害補償法、大阪府北部農業共済組合への負担金に関する覚書													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	大阪府北部農業共済組合											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	事業運営の円滑化 農家が自然災害等によって受ける損失を補てんすることにより、農業経営の安定が図られる。												
(7) 事業概要	かつて各市町において運営していた法に基づく農業共済事業を、大和川以北の21市町を包括し設立された組合が平成11年度から事業継承し、市がその業務運営に対する経費の一部を負担する事業													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		768	768	768	768	768							
	人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
		総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
	総事業費(A+B)		851	848	852	852	850							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		851	848	852	852	850							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		851	848	852	852	850								
財源計(C+D)		851	848	852	852	850								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	大阪府北部農業共済組合											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	各市町において運営していた法に基づく農業共済事業を21市町を包括する組合に継承する。			目標	事業運営の効率化	
	②	成果内容	農業共済事業を行う組合に事業を継承することにより、事業経費の効率化が図れる。			達成状況	農業共済事業に関する事務経費が、大阪府北部の21市町が包括する組合で運営することにより経費の効率化が図られている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		農家数が少ない中、単独で農業共済事業を行うことは非効率であるため、引き続き農業共済事業を組合に事業継承し、その運営経費の一部を負担することを継続すべきと考える。					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	大阪北部農業共済組合負担金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00223				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00223
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市が単独で共済事業を行うことと比べ極めて事業経費が少なく、また、農業共済事業を専門的に扱うため、損害等に適切に対応できている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	花とみどりふれあい農園事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正内容	助成金交付単価の見直し(縮小)及び機構改革による改正											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市花とみどりふれあい農園推進事業種子配布及び助成金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	50							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	農地											
	結果(どのような効果が得られるのか)	農地の有効活用を図るとともに、都市に花が咲く風景を創出し、市民生活に潤いとやすらぎをもたらす快適な環境形成を図る。												
(7) 事業概要	農地の有効活用と市民が花とみどりにふれあえる場を提供することを目的として、農家に草花の栽培を奨励し、栽培事業を行う農家に種子を配布し、開花状況に応じて助成金を交付する。また、本事業で栽培されたコスモス、菜の花については市民を対象に、観賞・花摘み園として一部開放している。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	6	項	1	目	3	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,651	1,417	1,613	1,326	1,615							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20							
		総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,634							
	総事業費(A+B)		3,311	3,007	3,284	2,997	3,249							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
			国	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		3,311	3,006	3,284	2,997							
			地方債	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0							
		一般財源	3,311	3,006	3,284	2,997								
財源計(C+D)		3,311	3,006	3,284	2,997	3,249								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	栽培農家										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	申請面積	目標値	(単位: m ²)	67,900.00	66,800.00	67,400.00
			実績値	(単位: m ²)	66,648.00	61,601.00		
			達成度(%)		98.2	92.2		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.05	0.05		
	一般財源(単位: 千円)			0.05	0.05			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位: 千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	開花面積	目標値	(単位: m ²)	57,715.00	56,780.00	56,040.00
			実績値	(単位: m ²)	51,909.00	50,373.00		
			達成度(%)		89.9	88.7		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.06	0.06		
	一般財源(単位: 千円)			0.06	0.06			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位: 千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>本事業は農業者の高齢化が進む中で、農業者へのアプローチ策が何もないと耕作放棄地となることから、農地の保全策として非常に有効である。平成24年度に助成単価を見直したところであり、耕作放棄地の予防策として、今後も継続すべき事業と考える。</p>					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	花とみどりふれあい農園事業	事業区分	その他
事務事業番号	00224				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00224
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は農業者の高齢化が進み、担い手が減少する中で、農地保全対策として有効な事業であり、また、都市の景観形成に役立ち、市民生活に潤いとやすらぎを与える事業といえる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	農作業体験事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成8年度	改正 内容	事業費の見直し											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	参加者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	年10回程度の農作業を体験することで、農業と食の重要性に対する理解促進を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が農業に接する機会を創出し、心豊かな市民生活に寄与できるとともに食育体験として、都市部では得難い経験をj得ることができ、農業への理解が深まる。													
(7)	事業概要	市民が水稻、さつまいもなどの農作物の作付から収穫までの農作業を体験する事業。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	6	項	1	目	3	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		762	656	706	629	704							
		人件費	職員数	人	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45						
			総額(B)	千円	3,735	3,577	3,759	3,759	3,677						
		総事業費(A+B)		4,497	4,233	4,465	4,388	4,381							
		特定財源(C)		335	332	287	278	341							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	335	332	287	278	341							
		市負担(D)		4,162	3,901	4,178	4,110	4,040							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	4,162		3,901	4,178	4,110	4,040									
財源計(C+D)		4,497	4,233	4,465	4,388	4,381									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市農業振興研究協議会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 通年事業の参加者数	目標値	(単位:人)	100.00	100.00	100.00
			実績値	(単位:人)	133.00	109.00	
			達成度(%)		133.0	109.0	
	目標値の積算方法 農地規模から算定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		31.83	40.26	
			一般財源(単位:千円)		29.33	37.71	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 アンケートによる満足度	目標値	(単位:%)	92.60	77.00
	実績値			(単位:%)	77.00	83.00	
	達成度(%)			83.2	107.8		
	目標値の積算方法 前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		54.97	52.87	
			一般財源(単位:千円)		50.66	49.52	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		「市報すいた」及び市のホームページを中心とした事業告知で定員を上回ることからも市民ニーズの高い事業と思われる。農産物の生産現場が見えにくい都市部において、子どもたちの食育面からも継続すべき事業と考える。				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	農作業体験事業	事業区分	その他
事務事業番号	00225				

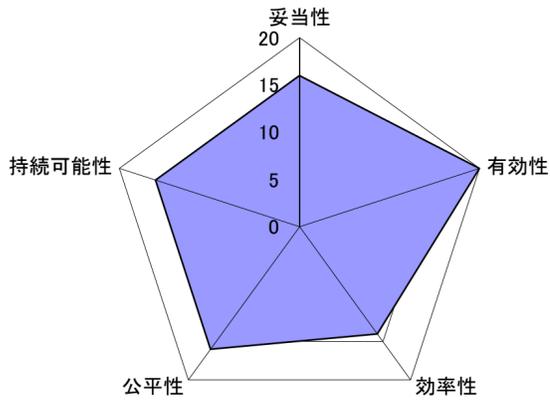
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点				
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点		
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点		
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))				
		評価点合計 (100点満点)	82			
		(5) 持続可能性 (20点)	16			

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00225
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>年間を通じて体系的に農作業体験を行う貴重な機会を提供できる事業である。近年は、小さな子どもを持つ家族の参加が大半を占めており、教育的側面からも本事業への期待が高まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中小企業資金融資事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和36年度	改正内容	吹田市小企業者事業資金融資制度に係る借換条件の撤廃、受付業務について吹田商工会議所へ委託											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	中小企業信用保険法、吹田市小企業者事業資金融資あっせん要綱ほか													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		中小企業信用保険法第2条第5項第5号等に基づく全国共通様式による認定書の発行を行う。											
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内中小企業者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市内中小企業者の振興・発展につながる。												
(7) 事業概要	中小企業者に対する融資の相談・あっせんを行う。大阪府経営安定資金、東日本大震災対策資金の融資を受けるために必要な認定書の発行を行う。中小企業者に対する融資制度のうち、吹田市小企業者事業資金融資にかかる信用保証料及び利子の一部補給を行う。大阪府開業サポート資金及び日本政策金融公庫新創業融資制度にかかる利子の一部補給を行う。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		307,182	304,325	306,600	304,908	306,652							
	人件費	職員数	人	1.50	1.50	1.30	1.30	0.90						
		総額(B)	千円	12,450	11,921	10,858	10,858	7,353						
	総事業費(A+B)		319,632	316,246	317,458	315,766	314,005							
	特定財源(C)		300,016	300,000	300,016	300,000	300,016							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		300,016	300,000	300,016	300,000	300,016						
	市負担(D)		19,616	16,246	17,442	15,766	13,989							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		19,616	16,246	17,442	15,766	13,989								
財源計(C+D)		319,632	316,246	317,458	315,766	314,005								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田商工会議所										
			②											
			③											
	主な委託内容		吹田市小企業者事業資金融資に係る受付業務											
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	補給対象融資制度利用の市内中小企業者											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市小企業者事業資金融資制度実行件数	目標値	(単位:件)	28.00	28.00	/
			実績値	(単位:件)	22.00	11.00	
		達成度(%)		78.6	39.3		
	目標値の積算方法 過去の実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14,374.86	28,706.00		
			一般財源(単位:千円)	738.50	1,433.27		
	(2) 成果指標	②	指標内容 中小企業信用保険法に基づく認定書発行件数	目標値	(単位:件)	210.00	
実績値				(単位:件)	77.00	90.00	
達成度(%)			36.7	90.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,107.10	3,508.51		
			一般財源(単位:千円)	211.00	175.18		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容		目標			
②	成果内容	市内中小企業者に対して低利の融資制度を提供し、またその融資制度に対する利子等の補助を実施することで、経営の安定を図る。	達成状況	市内中小企業者の経営の円滑化及び発展に寄与している。			
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	吹田市小企業者事業資金融資のあっせんや、信用保証料及び利子の一部補給制度により、小規模事業者の経営安定に寄与している。また、開業サポート資金融資等にかかる利子の一部補給制度については順調に交付件数が増加しており、開業間もない時期の経営支援として重要度が増している。					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	中小企業資金融資事業	事業区分	その他
事務事業番号	00226				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00226
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年4月に吹田市小企業者事業資金制度について借換条件を撤廃し、利用対象者の範囲が拡大した。また、受付業務を商工会議所に委託したことにより、商工会議所窓口において、市内小規模事業者に対して、制度の周知が一定図られている。しかし、他の融資制度の利用者が多く、昨年度に比べて利用者は減少している。</p> <p style="text-align: right;">吹田市開業サポート資金融資 等に係る利子補給金について、制度の周知が一定浸透した結果、昨年度より交付件数が増加している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田産業フェア事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和59年度	改正内容	書類の様式変更による改正											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田産業フェア補助金要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地元産業を紹介し、関わりについて認識を深める。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市内産業の振興につながる。													
(7)	事業概要	市は吹田産業フェア推進協議会に事業の一部を補助し、同推進協議会では実行委員会を組織し、事業を実施する。具体的な事業内容は市内事業所による展示・販売のほか、各種イベントの開催、商業祭、農業祭などを通して地元産業を紹介し、市内産業の振興を図るものである。。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		10,043	10,006	10,032	10,000	10,019							
		人件費	職員数	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.69						
			総額(B)	千円	6,640	6,358	6,682	6,682	5,638						
		総事業費(A+B)		16,683	16,364	16,714	16,682	15,657							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		16,683	16,364	16,714	16,682	15,657							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			16,683	16,364	16,714	16,682	15,657								
財源計(C+D)		16,683	16,364	16,714	16,682	15,657									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田産業フェア推進協議会										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 出展事業所数	目標値	(単位:事業所)	94.00	94.00	94.00
			実績値	(単位:事業所)	94.00	90.00	
			達成度(%)		100.0	95.7	
	目標値の積算方法	過去の実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		174.10	185.36
				一般財源(単位:千円)		174.10	185.36
	(2) 成果指標	②	指標内容 来場者数	目標値	(単位:人)	60,000.00	60,000.00
実績値				(単位:人)	54,000.00	55,000.00	
達成度(%)				90.0	91.7		
目標値の積算方法		過去の実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.30	0.30
				一般財源(単位:千円)		0.30	0.30
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	市民の地元産業に対する認知度が高まる。			達成状況	数値化は困難であるが、市民の地元産業に対する関心が産業の振興に寄与している。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地域の企業が地域で果たす社会的、経済的な役割はますます重要になっている。本事業は市民と企業、企業と企業を結びつけることができる事業であり、今後も継続すべきであるとする。				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	吹田産業フェア事業	事業区分	その他
事務事業番号	00227				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00227
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five evaluation categories. The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性 (Justification) at 18, 有効性 (Effectiveness) at 15, 効率性 (Efficiency) at 12, 公平性 (Fairness) at 8, and 持続可能性 (Sustainability) at 10.</p>		
(3)現状分析	<p>毎年多くの入場者がある本市の大きなイベントであり、歴史もあり多くの市民が楽しみにしている。市民が市内産業を理解し、また事業者同士の交流の場にもなっており、市内産業の振興に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	商工業団体事業活動促進補助金交付事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和58年	改正内容	書類の様式変更による改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市商工業団体事業活動促進事業補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	商工業団体、またその連合体											
	結果(どのような効果が得られるのか)	事業活動の地域への密着及び団体事業の近代化、資質向上												
(7) 事業概要	商工業団体が商工業事業活動を促進するため実施する調査研究事業(経営診断、消費調査、通行量調査等)、研修(他市商店街視察研修、セミナー等)、催物(寄席、祭り)、及び媒体の作成(HP開設等)に対し、その費用の一部を補助する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,000	2,119	3,000	1,778	2,500							
	人件費	職員数	人	0.40	0.50	0.40	0.40							
		総額(B)	千円	3,320	3,974	3,341	3,341							
	総事業費(A+B)		6,320	6,093	6,341	5,119	5,768							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		6,320	6,093	6,341	5,119							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		6,320	6,093	6,341	5,119									
財源計(C+D)		6,320	6,093	6,341	5,119	5,768								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	事業協同組合・事業協同小組合											
		②	商店街振興組合											
		③	別に規定する中小企業者である団体											
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 補助件数	目標値	(単位:件)	18.00	18.00	/
			実績値	(単位:件)	15.00	13.00	
		達成度(%)		83.3	72.2		
	目標値の積算方法 過去からの実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	353.20	393.77		
			一般財源(単位:千円)	353.20	393.77		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	商工業団体が商工業事業者の活性化を促進するため実施する調査研究事業、研修事業、催物事業及び媒体作成事業に対して、その費用の一部を補助する。		目標	各団体の商工業活動活性化の促進	
	②	成果内容	商工業団体の活性化並びに地域住民の参加による地域の活性化		達成状況	各団体において事業を実施することにより、事業効果の把握や検証、会員の資質の向上並びに地域住民との交流が図られた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		事業活動効果検証や会員の資質向上、商業者と地域住民との交流、並びに各団体の媒体作成など消費者へのPRや地域コミュニティ活動の促進など、商工業の振興に資するものであり今後も活用を促しながら継続する。				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	商工業団体事業活動促進補助金交付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00228				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00228
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>補助対象としている、調査・研究・研修は、商工業団体にとって、活性化を図る方策を探ったり、補助金が交付された後の効果検証を実施するのに不可欠である。 催物は、商業者が地域住民と交流を深めるものであり、商業活性化や地域コミュニティの形成に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	商店街等商業共同施設事業補助金交付事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和44年度	改正内容	書類の様式変更による改正											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市商店街等商業施設設置事業補助金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	商店街、小売市場、商店街振興組合等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	商店街や小売市場の商業共同施設整備の促進												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	顧客の利便性を向上し、来街者数の増加につながり、地域商業が活性化する。												
(7)	事業概要	商店街または小売市場の活性化を図るために、消費者の利便に寄与する商業共同施設(アーチ、冷房施設、放送施設、街路灯、防犯灯、防犯カメラ、アーケード、カラー舗装等)を設置または修繕し、魅力ある商業地づくりを行う団体に対して要した費用の一部を補助する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	2	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,900	5,370	1,900	170	1,000							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		3,560	6,960	3,571	1,841	2,634							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		3,560	6,959	3,571	1,841	2,634							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			3,560	6,959	3,571	1,841	2,634								
財源計(C+D)		3,560	6,959	3,571	1,841	2,634									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	商店街等の事業協同組合又は商店街振興組合										
②	①に準ずるもの														
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	補助件数	目標値	(単位:件)	1.00	2.00	2.00
			実績値	(単位:件)	5.00	1.00		
		達成度(%)		500.0	50.0			
	目標値の積算方法	過去からの実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,392.00	1,841.00	
				一般財源(単位:千円)		1,392.00	1,841.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容	商店街、小売市場等がアーケード、カラー舗装、街路灯、コミュニティ関連施設等の商業共同施設等を設置した場合の費用の一部を補助する。			目標	商店街や小売市場の商業共同施設を整備することにより、顧客の利便向上を図る。		
	②	成果内容	顧客利便の向上により、来街者数の増加を図り、地域商業の活性化を図る。			達成状況	前年度よりも多くの団体がこの補助金を活用し、商業共同施設の設置や改修を実施し顧客の利便向上を図った。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		アーケードや街路灯、防犯カメラなど商業団体が持つ施設の整備や修繕は、顧客の利便性向上には不可欠であるとともに、突発的な修繕を図る必要がある。整備等の計画はされているが商業団体にとって多額の費用が必要であることから見送られている現状もあり、その費用の軽減を図る手段が他に見込めない状況であることから今後も現行どおり継続する。					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	商店街等商業共同施設事業補助金交付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00229				

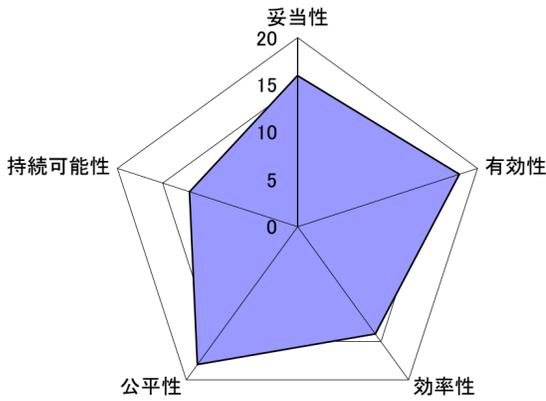
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00229
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>商業施設の整備を図ることにより、来街者の利便性が高まり、商業活性化に寄与する。安心安全な商業地づくりを維持向上するためには、商業団体が持つ施設を整備・修繕することは多額の自己資金を伴うことから同事業により費用の一部を補助している。 各商店街等においては施設の老朽化が進み、修繕や新設に引き続き対応できる補助金であり、商業団体にとって要望が高い事業である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市創業・中小企業振興支援事業補助金交付事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和58年度	改正内容	書類の様式変更による改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市創業・中小企業振興支援事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田商工会議所が実施する中小企業者に対する創業や経営革新支援事業等												
	目標(どういう状態にしたいのか)	中小企業の健全な育成を図るとともに情報化を推進する。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	本市の中小企業の発展及び振興につながる。												
(7) 事業概要	吹田商工会議所が実施する中小企業者に対する創業や経営革新支援事業並びに市内商工業の振興に資するために行う諸事業に対して、事業費の1/2、補助限度額300万円の範囲で補助する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	2	小事業	3
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000							
	人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	1,590	836	836	817						
	総事業費(A+B)		3,830	4,590	3,836	3,836	3,817							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,830	4,589	3,836	3,836	3,817							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		3,830	4,589	3,836	3,836	3,817						
財源計(C+D)		3,830	4,589	3,836	3,836	3,817								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田商工会議所										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	補助金額	目標値	(単位:円)	3,000,000.00	3,000,000.00	3,000,000.00
			実績値	(単位:円)	3,000,000.00	3,000,000.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	過去の実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	吹田商工会議所が実施する事業へ補助することで本市の中小企業者の発展及び振興に貢献している。			達成状況	様々なセミナーやシンポジウムなどを行い、事業者が必要とする事業を実施している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田商工会議所は起業支援、売上向上、経営革新等、市内中小企業者に対する様々な相談窓口として、その役割が高まっている。市内中小企業者のニーズに応じた各種相談事業やセミナー等の実施を更に推進するため、補助金を支出する本事業の継続が必要であるとする。					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	吹田市創業・中小企業振興支援事業補助金交付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00230				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00230
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田商工会議所による企業への訪問活動、各種相談業務やセミナー等を開催し、事業者ニーズに沿った事業を展開しており、事業所の発展に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	商店街等魅力向上促進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正内容	書類の様式変更による改正											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市商店街等魅力向上促進事業交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	30							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	商店街、小売市場、商店街振興組合等												
		目標(どういう状態にしたいのか)	地域住民にとって魅力あふれる場にする。また、空き店舗を借り上げてその活用を促進し商店街等の魅力を高める。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	市内商業の活性化及び商店街等の空き店舗を減少させ、商業地の魅力向上づくりに寄与する。													
(7)	事業概要	商店街と地域の諸団体との連携した団体などが、地域の消費者や住民にとって魅力あふれる場として、にぎわいづくりが図れるようまちづくりの視点から取り組む先導的な事業に対し、補助金を交付する。また、商業団体が空き店舗を借り上げて、共同施設やチャレンジショップとして活用する事業に対し補助金を交付する。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	2	小事業	4
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		16,000	8,890	15,000	8,882	13,000							
		人件費	職員数	人	0.40	0.50	0.40	0.40	0.40						
			総額(B)	千円	3,320	3,974	3,341	3,341	3,268						
		総事業費(A+B)		19,320	12,864	18,341	12,223	16,268							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		19,320	12,864	18,341	12,223	16,268							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	19,320		12,864	18,341	12,223	16,268									
財源計(C+D)		19,320	12,864	18,341	12,223	16,268									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	商店街等の事業協同組合等またはその連合体										
②	①の団体に準ずるもの														
③	①・②を中心とし大学やNPO等が組織する														
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 補助件数	目標値	(単位:件)	11.00	9.00	10.00
			実績値	(単位:件)	6.00	6.00	
			達成度(%)		54.5	66.7	
	目標値の積算方法	過去からの実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,011.67	2,037.17
				一般財源(単位:千円)		2,011.67	2,037.17
	②	指標内容 補助金による空き店舗減少数	目標値	(単位:件)	4.00	3.00	4.00
実績値			(単位:件)	1.00	0.00		
達成度(%)			25.0	0.0			
目標値の積算方法		過去からの実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		12,070.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		12,070.00	0.00
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	商店街等が「経営改善」や「まちづくり」の視点から取り組む先導的な事業及び、空き店舗を借り上げ共同施設やチャレンジショップなどについて活用する事業に対し、費用の一部を補助する。			目標	商業活性化の促進
	②	成果内容	商店街等を含むまち全体の魅力を向上し、市内商業の振興に資する			達成状況	各実施団体において、魅力向上に寄与し、市内商業の振興が促進された。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		商業団体等による先進的なまちづくりは、地域住民のみならず市内においても定着している取り組みとなり、商業活性化に寄与している。また空き店舗活用事業についても、既存の加盟店にはない新しい業種を誘致することにより、集客力向上や魅力向上に寄与するものとして有効であることから、今後も継続するものとする。				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	商店街等魅力向上促進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00231				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00231
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>商業団体がにぎわいのあるまちづくりの視点から事業を実施することにより、そのまち全体が魅力あふれる場となり、近辺の商店街等の活性化も期待できる。空き店舗活用事業についても、既存の加盟店にはない新しい業種を呼び込むことによる魅力向上に寄与することから商業活性化に資するものとする。</p> <p>また、商店街の空き店舗等を活用し、地域が抱える課題を地域住民により解決するコミュニティビジネスについても、地域コミュニティの活性化に寄与するものと期待されるため、活用を促していきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	新産業育成・創業起業支援事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	書類の様式変更による改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市創業支援型事業所賃借料補助金交付要綱等、自治事務													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内の創業者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市内の開業率を高め、廃業率を抑えることにより、市内産業の振興に資する。												
(7) 事業概要	市内において新たに事業所を開設し、地域経済の循環及び活性化に資する創業計画を実施する者に対し、事業所賃借料補助金を交付することにより、新規創業を促すとともに創業者の事業継続を支援する。また、市内創業者の育成や交流を目的とした起業家交流会を実施する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	2	小事業	5
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,937	1,235	2,042	1,900	2,892							
	人件費	職員数	人	0.40	0.50	0.40	0.40	0.40						
		総額(B)	千円	3,320	3,974	3,341	3,341	3,268						
	総事業費(A+B)		5,257	5,209	5,383	5,241	6,160							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		5,257	5,209	5,383	5,241	6,160							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		5,257	5,209	5,383	5,241	6,160								
財源計(C+D)		5,257	5,209	5,383	5,241	6,160								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	市内の創業者											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	賃借料補助金交付件数	目標値	(単位:件)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:件)	4.00	4.00		
			達成度(%)		133.3	133.3		
		目標値の積算方法	予算積算件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,103.75	1,310.25	
	一般財源(単位:千円)				1,103.75	1,310.25		
	②	指標内容	起業家交流会参加者数	目標値	(単位:人)	160.00	160.00	/
			実績値	(単位:人)	174.00	162.00		
			達成度(%)		108.8	101.3		
目標値の積算方法		1回40人参加×4回開催	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	25.37	32.35		
	一般財源(単位:千円)			25.37	32.35			
(2) 成果指標	①	指標内容	賃借料補助金を交付した事業者のうち、事業を継続している事業者数	目標値	(単位:社)	6.00	6.00	/
			実績値	(単位:社)	5.00	7.00		
			達成度(%)		83.3	116.7		
		目標値の積算方法	年度当初に、賃借料補助金の交付を受けたことがあり、かつ事業を継続している事業者のうち、年度末に事業を継続している事業者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	883.00	748.71	
	一般財源(単位:千円)				883.00	748.71		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	市内の開業率の上昇と廃業率の抑制。支援事業者の市内産業振興への貢献度の向上。			達成状況	市内の開業率や廃業率の変化を直ちに把握することは困難だが、補助金を活用した事業者の活動状況は、継続的に把握する必要がある	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>開業資金等の融資制度や大阪府の関連事業と連携を図り、創業者の事業継続と発展を効果的に支援していく必要がある。また、職員自身が創業者からの様々な相談に対応できるようにするなど、スキルアップを図ることも必要である。市内の創業・起業家に対する支援は、本市の強みを活かすための重点的な取り組みであり、ハードとソフトの両面において、より効果的な支援を実施できるよう事業内容の改善を継続的に検討する必要がある。</p> <p>賃借料補助金については、すいた経営革新支援センターと連携し、新規創業者の発掘及び補助対象者の事業継続の支援を行っていく。</p> <p>起業家交流会については、多くの起業家の参加による開催実績があるが、今後も市内起業家のニーズを反映させながら継続的に実施していくことで、起業家支援につなげる。また、多くの新規参加者を獲得するため、参加者の募集については市内全域に広く周知を行う。なお、平成29年度に起業家交流会の会場であるメイシアターが大規模改修に伴い休館となるため、同程度の会場に確保に係る予算の計上を行う。</p>					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	新産業育成・創業企業支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00232				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00232
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 各視点からの評価(5) ①・②について
 本事業の目標の実現のためには、実績また事業者のニーズに合わせて補助可能件数を増やす等、今後における事業費の増加も考えられるため、本指標にて事業の評価を行うことは困難である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度においては、賃借料補助金については、積極的な制度周知の結果、昨年度に続き、多くの創業者による制度活用につながったことで、目標件数を達成することができ、創業者の経営の安定に寄与することができた。</p> <p>起業家交流会については、目標人数を上回る実績となっており市内起業者にとっての課題解決、情報共有、交流の場として活用されている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	企業情報収集・支援事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	自治事務													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内中小企業者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市内中小企業者を直接訪問することで、行政と個々の中小企業者との信頼関係を構築し、本市の産業施策への理解と協力を得る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市内中小企業の情報が把握され、その実態に応じたより効果的な中小企業支援施策が実施されることにより、市内産業の振興に資する。													
(7)	事業概要	市内中小企業を訪問し、企業経営者等との面談を行うことにより、行政による支援施策の周知及び活用促進、当該事業者の事業実態、課題及び行政に対する要望並びに施策ニーズの把握、企業誘致に関する企業の動向を把握するための情報収集等を行う。また、企業間のマッチングを積極的に推進し、企業間の交流や連携を図る活動が円滑に推進されるよう支援を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	2	小事業	6
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,757	3,560	3,867	3,743	3,871							
		人件費	職員数	人	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
			総額(B)	千円	9,960	9,537	10,023	10,023	9,804						
		総事業費(A+B)		13,717	13,097	13,890	13,766	13,675							
		特定財源(C)		16	0	16	16	16							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	16	0	16	16	16							
		市負担(D)		13,701	13,096	13,874	13,750	13,659							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	13,701		13,096	13,874	13,750	13,659									
財源計(C+D)		13,717	13,096	13,890	13,766	13,675									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 企業訪問数	目標値	(単位:社)	300.00	300.00	/
			実績値	(単位:社)	207.00	254.00	
		達成度(%)		69.0	84.7		
	目標値の積算方法 1日2.5社×週3日×4週×10月	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	63.10	54.20		
			一般財源(単位:千円)	63.02	54.13		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 企業訪問による周知・案内に基づき、補助金制度を活用した企業数	目標値	(単位:件)	21.00	21.00	/
			実績値	(単位:件)	22.00	21.00	
		達成度(%)		104.8	100.0		
	目標値の積算方法 中小企業活性化支援事業及び企業誘致推進事業における各補助金の予算積算件数×0.5	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	593.73	655.52		
			一般財源(単位:千円)	593.00	654.76		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	企業情報及び実態の把握や、市及び国、大阪府等の支援制度の案内。		目標	市内中小企業の情報及び実態を把握し、ニーズを知るとともに、支援制度の周知を図る。	
	②	成果内容	訪問先企業への情報提供や企業間マッチング支援による効果の向上。		達成状況	数値化することが困難ではあるが、市内事業者の事業活動にどのように反映されているか把握していく必要がある。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>市内企業を直接訪問することにより、市内企業の実態把握と、企業からの意見・要望の聞き取りができていく。それらの意見・要望を、今後も、商工振興施策の推進や新たな中小企業支援施策の検討に役立てていくなど、本事業は本市の産業施策の推進において重要な位置付けとなっている。また、新規開拓も積極的に行っており、平成27年度においては79件が新規訪問であった。</p> <p>また、中小企業支援施策の案内や企業間マッチング支援を行うことにより、市内企業の事業活動の発展に寄与している。</p> <p>企業情報収集員の採用が平成27年5月途中からであったが、年間の企業訪問件数は増加傾向にある。</p>				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	企業情報収集・支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00233				

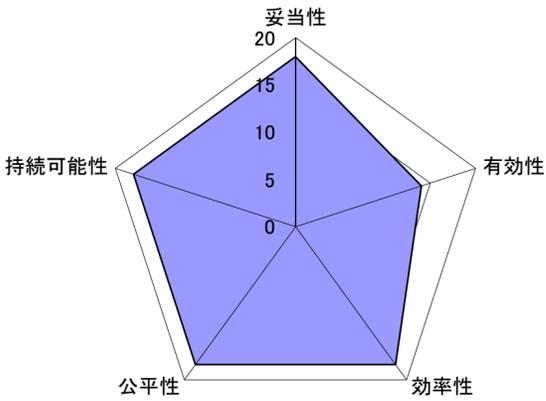
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00233
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度の訪問企業数は、合計254社と目標の300社は下回ったものの、事業者の実態把握や意見・要望の聞き取りは行うことができた。また、事業者への各支援施策における補助金交付件数をみると、訪問活動による制度周知の効果はあったと考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中小企業活性化支援事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正内容	書類の様式変更による改正											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市エコアクション21認証取得事業補助金交付要綱、吹田市中小企業大学校受講補助金交付要綱等													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	0							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内中小事業者												
		目標(どういう状態にしたいのか)	市内中小事業者の経営基盤の安定及び事業拡大を図るほか、環境配慮に対する意識の向上を目指す。												
(7)	事業概要	結果(どのような効果が得られるのか)	市内中小企業の新製品や新技術の開発が促進されるほか、企業価値や資質の向上により、市内産業の振興に資する。												
		エコアクション21の認証取得、中小企業大学校の研修の受講、知的財産権の取得、販路開拓を目的とした展示会等への出展又はホームページの新規作成を行う市内中小企業者に対して補助金を交付することにより、市内中小企業者の継続的発展を支援する。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	2	小事業	7
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,927	3,328	3,927	2,184	3,427							
		人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.35						
			総額(B)	千円	3,320	3,179	3,341	3,341	2,860						
		総事業費(A+B)		7,247	6,507	7,268	5,525	6,287							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		7,247	6,507	7,268	5,525	6,287							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			7,247	6,507	7,268	5,525	6,287								
財源計(C+D)		7,247	6,507	7,268	5,525	6,287									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	市内中小企業者										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	補助金交付件数	目標値	(単位:件)	38.00	38.00	28.00	
			実績値	(単位:件)	33.00	21.00		
			達成度(%)		86.8	55.3		
	目標値の積算方法	予算積算件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		197.18	263.10	
				一般財源(単位:千円)		197.18	263.10	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
				目標				
		各補助金を活用した事業者の市内産業への貢献度の向上。		達成状況	数値化することが困難ではあるが、市内事業者の事業活動にどのように反映されているかを把握していく必要がある。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>今後も引き続き、各補助金について市内中小企業者に広く周知するとともに、市内中小企業者を訪問する際にも本事業の説明を行い、効果的な補助金の活用を図り、地域経済の活性化に努める必要がある。</p> <p>補助金の内容については、市内中小企業者のニーズに合ったものになっているかを企業訪問等を通じて常に検証を行い、また、実績等を踏まえてより多くの事業者に補助金を活用し市内産業の振興に貢献してもらえるよう事業の拡充を含め検討する。</p>					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	中小企業活性化支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00234				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00234
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 各視点からの評価(5) ①・②について
 本事業の目標の実現のためには、実績また事業者のニーズに合わせて補助可能件数を増やす等、今後における事業費の増加も考えられるため、本指標にて事業の評価を行うことは困難である。
 本事業においては、今後、事業者ニーズに対応した事業拡大を行う必要がある中で、事業費、市負担ともに増大が見込まれるため、持続可能性における評価点は低くなっているが、市内の中小企業支援を行ううえでは非常に重要な事業である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各補助金の平成27年度の活用実績は、エコアクション21認証取得事業補助金が1件、中小企業大学校受講補助金が0件、知的財産権取得事業補助金が4件、展示会等出展事業補助金が11件、中小企業ホームページ作成事業補助金が5件である。</p> <p>企業訪問やメールマガジン配信、HP等を効果的に活用した制度周知の結果、事業者による一定の制度活用につながったと考えられる。活用実績が少ない補助金については、事業者のニーズ分析や制度の周知方法の検討等が必要であると考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	企業誘致推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正 内容	書類の様式変更による改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市企業立地促進条例等、吹田市地元雇用促進補助金交付要綱等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内において事業所の新設や拡張を行う企業、または地域経済の循環及び活性化に資する事業活動を行う企業											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市内の産業集積の維持及び拡大と、市内企業による市民の雇用の促進、市内取引の増加、周辺住民の生活環境の保全及び事業者の定着、企業間連携等の促進による事業者の技術開発力の向上及び新分野進出の円滑化を図る												
(7) 事業概要	市内において事業所の新設や拡張を行う企業に対し税制優遇や奨励金の交付を行うとともに、市民の雇用、地元企業への発注、周辺住環境への配慮、産学連携等による新製品の開発等を行う企業に対して補助金を交付することにより、地域経済の循環及び活性化に資するための企業誘致を図る。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	2	小事業	8
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		20,143	9,118	20,143	3,745	16,513							
	人件費	職員数	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.75						
		総額(B)	千円	6,640	6,358	6,682	6,682	6,128						
	総事業費(A+B)		26,783	15,476	26,825	10,427	22,641							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		26,783	15,476	26,825	10,427	22,641							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		26,783	15,476	26,825	10,427	22,641								
財源計(C+D)		26,783	15,476	26,825	10,427	22,641								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	市内企業者											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 条例適用件数	目標値	(単位:件)	2.00	2.00	/	
			実績値	(単位:件)	1.00	1.00		
			達成度(%)		50.0	50.0		
	目標値の積算方法	各条例につき1件の新規適用件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	15,477.00	10,427.00		
				一般財源(単位:千円)	15,477.00	10,427.00		
	②	指標内容 補助金交付件数	目標値	(単位:件)	4.00	4.00		/
			実績値	(単位:件)	3.00	1.00		
			達成度(%)		75.0	25.0		
目標値の積算方法	予算積算件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,159.00	10,427.00			
			一般財源(単位:千円)	5,159.00	10,427.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	各条例の適用を受けた、または補助金を活用した事業者の市内産業への貢献度の向上。			達成状況	数値化することが困難ではあるが市内事業者の事業活動にどのように反映されているかを把握していく必要がある。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>今後も、各条例及び補助金制度については、広く周知するとともに効果的な制度活用を図ることで、地域経済の循環と活性化に資する企業誘致の推進に努める必要がある。</p> <p>その一方で、本市においては企業誘致に活用できる土地が少なく、また用地情報の取得も困難である。そこで、本市の現状に応じた企業誘致施策について支援要件・支援対象地域・支援対象業種・支援内容など、より一層本市の特性を活かした施策の見直しを検討する。</p>					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	企業誘致推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00235				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00235
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 各視点からの評価(5) ①・②について
 本事業の目標の実現のためには、実績また事業者のニーズに合わせて補助可能件数を増やす等、今後における事業費の増加も考えられるため、本指標にて事業の評価を行うことは困難である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度においては、条例の活用は、特区条例の新規適用実績がはないが、運用実績は1件である。また、企業立地促進条例の適用実績は1件である。補助金の活用は、環境配慮事業補助金については活用実績がなかったが、共同研究開発事業補助金が1件あり、地域経済の循環と活性化に寄与することができたと考えられる。なお、地元雇用促進補助金及び地元企業発注促進補助金については、平成29年度にそれぞれ2件の補助金交付を行う可能性がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	商業経営等相談事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和52年度	改正 内容	補助の額を改正し、要綱を要領に変更											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	吹田市商業活性化コンサルタント派遣事業交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内の創業者・事業者及び商業団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	経営上の相談等を通じ、中小企業診断士の指導により経営改善等を目指す。また、専門家を派遣することにより、商店街等の運営の改善や商業施設の整備の検討を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	創業者・事業者の発展、近代化等により、魅力ある商業地が形成される。また、専門的知識を持ったコンサルタントの派遣により、各商店街等の近代化並びに活性化を図る。													
(7)	事業概要	商業経営上の諸問題の解決及び個店の経営体質の強化を図るために、専任の中小企業診断士による商業相談を実施する。また、市内の商業団体が商店街運営の改善などを検討する場合、その指導・助言のため吹田商工会議所が派遣するコンサルタントに要した費用を補助する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,792	2,657	2,792	2,627	2,792							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		4,452	4,247	4,463	4,298	4,426							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,452	4,246	4,463	4,298	4,426							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			4,452	4,246	4,463	4,298	4,426								
財源計(C+D)		4,452	4,246	4,463	4,298	4,426									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田商工会議所										
				②											
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 相談回数	目標値	(単位:件)	36.00	36.00	36.00	
			実績値	(単位:件)	36.00	36.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	過去からの実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		117.97	119.39	
				一般財源(単位:千円)		117.97	119.39	
	②	指標内容 コンサルタント派遣団体数	目標値	(単位:団体)	2.00	2.00	2.00	
			実績値	(単位:団体)	3.00	3.00		
			達成度(%)		150.0	150.0		
目標値の積算方法	過去からの実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,415.67	1,432.67		
			一般財源(単位:千円)		1,415.67	1,432.67		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	市内の創業者、事業者及び商業団体に対して商業相談やコンサルタント派遣を実施し、経営上の諸問題の解決や経営改善などを図る			目標	創業者や事業者、商業団体などが経営指導や商業相談を通じて諸問題の解決や経営体質の強化を図る。	
	②	成果内容	専門知識を持ったコンサルタントを派遣し、また専任の中小企業診断士による商業相談を実施することにより、創業者や事業者、商業団体が抱える諸問題を解決する。			達成状況	多くの創業者や事業者、商業団体が専門知識をもった専門家に経営指導を受け、経営改善や商業活性化に寄与している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>商業者においては、売り上げの減少や後継者不足など抱える問題は多く、また商店街組織の改善や商業施設の整備などを検討する際に、その相談費用の軽減を図る手段が他に見込めないことから今後も継続するものとする。</p> <p>また創業者や事業者が、起業や経営などの相談を受けることにより、起業を促進したり経営改善につながることから今後も継続するものとする。</p>					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	商業経営等相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00236				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00236
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>売上の減少や後継者問題など事業者や商業の抱える問題は多く、経営改善や組織力向上のために専門的な知識を持つコンサルタントや中小企業診断士が直接、指導・アドバイスすることにより、諸問題解決を図っている。</p> <p>また、商業相談においては、市役所本庁舎内チャレンジャー育成事業や商店街等魅力向上促進事業の空き店舗活用事業との連携を図り、起業や経営手法についてアドバイスしていることから、費用に見合った効果が得られている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	産業振興基盤づくり事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	書類の様式変更による改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	自治事務、吹田市物産品展示ケース使用要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内事業者及び地域住民											
	結果(どのような効果が得られるのか)	市内事業者の事業の継続及び拡大を実現する。地域住民の市内産業振興についての理解を深める。												
(7) 事業概要	市内事業者の人材育成や事業活動の活性化を目的として、中小企業セミナーを実施する。また、市内小学生を対象とした体験学習講座の実施及び物産品展示コーナーの設置により、市民に市内産業の状況を知らせ、市民全体で市内産業の振興を図る。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	3	小事業	2
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		252	225	261	253	257							
	人件費	職員数	人	0.44	0.44	0.44	0.44	0.35						
		総額(B)	千円	3,652	3,497	3,675	3,675	2,860						
	総事業費(A+B)		3,904	3,722	3,936	3,928	3,117							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		3,904	3,722	3,936	3,928	3,117						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,904	3,722	3,936	3,928	3,117								
財源計(C+D)		3,904	3,722	3,936	3,928	3,117								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	特定非営利活動法人すいた環境学習協会										
			②											
			③											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	夏休み子ども体験学習講座の実施										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	セミナー等参加者数	目標値	(単位:人)	204.00	204.00	204.00
			実績値	(単位:人)	113.00	119.00		
		達成度(%)			55.4	58.3		
	目標値の積算方法	セミナー:1回30人参加×6回開催=180人 夏休み子ども体験学習講座:24人 合計204人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		32.95	33.01	
				一般財源(単位:千円)		32.95	33.01	
	②	指標内容	物産品展示コーナー出展事業所数	目標値	(単位:事業所)	0.00	36.00	36.00
実績値				(単位:事業所)	0.00	36.00		
達成度(%)			0.0	100.0				
目標値の積算方法		物産品展示コーナーブース数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	109.11	
	一般財源(単位:千円)				0.00	109.11		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	セミナー、講座等を受講した事業者及び市民による市内産業振興への貢献度の向上。			達成状況	数値化することは困難だが、市内事業者の事業活動にどのように反映されているかを把握していく必要がある	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>中小企業セミナーについては、今後も市内事業者のニーズに沿ったセミナーを開催できるよう、企業訪問などにより要望を把握するとともに、事業内容を市内事業者に広く周知していく必要がある。</p> <p>夏休み子ども体験学習講座については、これまで、市内産業についての講座と工場見学会を実施してきたが、今後も多様な形で市内産業の現状と魅力を伝えることができるような企画を考える必要がある。</p> <p>物産品展示コーナーについては、市内事業者による自社製品の市民へのPRの場として活用されている。また展示品については、出展事業所から提供されているものであるため、本事業にかかる費用は、展示コーナーの維持費のみであり、費用対効果は高く、継続実施すべき事業と考える。今後も、市内産業をより幅広く市民に紹介するため、さらに多様な企業の出展を促す必要がある。</p>					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	産業振興基盤づくり事業	事業区分	その他
事務事業番号	00237				

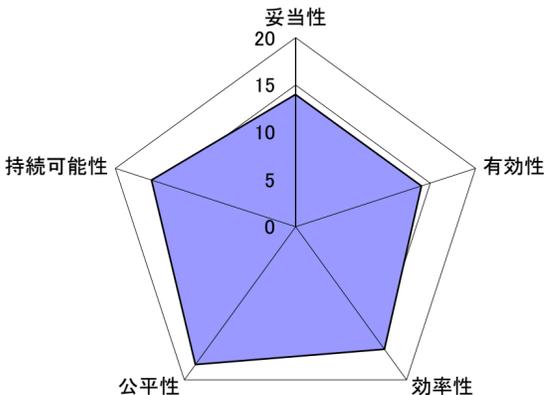
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00237
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度の中小企業セミナーについては、参加者は増加傾向にあり、事業者にとっての事業継続や課題解決、情報共有、事業者間交流の場として活用されている。しかし目標人数には届いておらず、今後はより市内事業者のニーズに合ったテーマ等の設定を検討する必要がある。</p> <p>夏休み子ども体験学習講座については、対象とする市内の小学生が多数参加しており、子どもたちが市内産業に対する興味を深める場として活用されている。</p> <p>物産品展示会コーナーについては、出展可能企業枠の36社を超える応募があり、この事業の市内企業への周知が進んでいる。平成28年2月より、出展企業側の発案から展示ケース横にパンフレットコーナーを設置し、より市民に市内産業の周知を図ることのできる場に改良した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

物産品展示コーナーについては、平成27年度から物産品展示コーナーの設置事業より移行。

事務事業評価調書

事務事業名	情報発信事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和58年度	改正 内容	商工ニュース発行事業、FAX情報事業、商工施策ガイドブック発行事業を統合する。											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	商店街、小売市場、商工会議所等の市内商工業関係団体、市内事業所											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	商工ニュース、ガイドブックの発行やFAX情報により、商工施策に関する知識と理解の向上、行政施策や商店街の催事情報等を広く提供する。												
(7) 事業概要	行政情報や各商店街等の取り組みを掲載した「商工ニュース」や市内の商工業を支援するための「吹田市商工施策ガイドブック」(隔年発行)をそれぞれ発行し、市内の事業所や商工業業団体等に郵送及び市、商工会議所の窓口に設置している。また、商業団体の運営や個店の経営手法などの参考となるような最新のニュースや話題等を「FAX商業情報」として、商店街・小売市場に定期的に配信している。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	5	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		326	264	497	423	277							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		4,476	4,238	4,673	4,599	4,362							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,476	4,238	4,673	4,599	4,362							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,476	4,238	4,673	4,599	4,362								
財源計(C+D)		4,476	4,238	4,673	4,599	4,362								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 商工ニュースの発行部数	目標値	(単位:件)	12,000.00	12,000.00	12,000.00	
			実績値	(単位:件)	12,000.00	12,000.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	過去からの実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.35	0.38	
				一般財源(単位:千円)		0.35	0.38	
	②	指標内容 FAX情報発行回数	目標値	(単位:回)	30.00	30.00	30.00	
実績値			(単位:回)	21.00	20.00			
達成度(%)			70.0	66.7				
目標値の積算方法		過去からの実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		201.81	229.95	
				一般財源(単位:千円)		201.81	229.95	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	市内の中小企業者、商工業者に対して、国・府・市及び関係機関などの産業振興施策や融資制度、各種商工関連調査結果や催事等の情報を様々な方法で提供する。			目標	商工施策に関する知識と理解の向上、行政施策や商店街の取り組みを広く提供し、商業者・事業者との連携を深める。	
	②	成果内容	広く情報提供することにより、行政と市内事業者との連携強化につながる			達成状況	市内商工業の振興を図り、行政施策や他の団体の取り組みの活用等につながった。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		商工ニュースは市内の事業所に広く配布するとともにホームページにも掲載し、広く情報を提供している。FAX商業情報は、商店街の取り組みや国・府関係施策の他、緊急且つ重大な情報を商店街に周知する手段として有効であると考えられる。また商工施策ガイドブックは、産業振興のため、主に本市の商工関係に関する情報を掲載し周知することを目的に隔年で発行しているが、ガイドブックを活用することにより、本市と市内商工業者との架け橋となり産業振興の一助となっている。総じて費用対効果も大きく、今後も継続する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	情報発信事業	事業区分	その他
事務事業番号	00240				

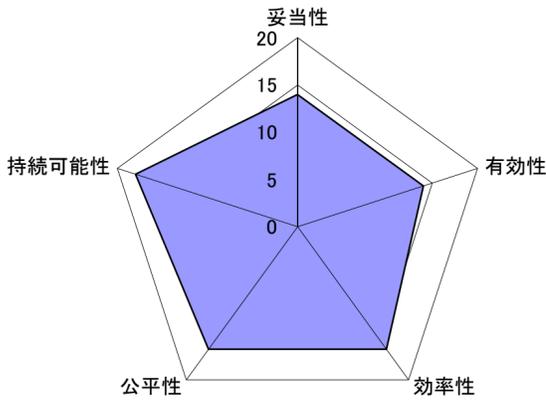
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00240
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>行政から事業者や商工業団体に向けての情報をさまざまなツールで発信することにより、市内事業者や商工業団体の活性化の一助となっている。内容としては、施策紹介や他団体の取り組み、国や府からの通知などを紹介しており、行政と事業者・商工業団体等との情報共有や連携強化に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	駅周辺活性化事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	駅周辺の地域住民、事業者及び来訪者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	商店街、建物公共空間が調和を見せる中、人が集い、交流し、豊かなコミュニケーションが形成され、人が循環する持続可能なまちづくりの実現												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	誰もが安心して暮らせる「活気あふれるにぎわいのあるまちづくり」の実現													
(7)	事業概要	駅周辺地域に応じた事業者と地域住民の協働のまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる「活気あふれるにぎわいのあるまちづくり」の実現に向けて支援を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		30	29	30	30	30							
		人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70						
			総額(B)	千円	5,810	5,563	5,847	5,847	5,719						
		総事業費(A+B)		5,840	5,592	5,877	5,877	5,749							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		5,840	5,592	5,877	5,877	5,749							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			5,840	5,592	5,877	5,877	5,749								
財源計(C+D)		5,840	5,592	5,877	5,877	5,749									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0				
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0				
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	地域に応じた事業者と地域住民の協働のまちづくりを支援する。JR吹田駅周辺については、NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会との協働によりまちづくりに取り組む。			目標	商店街、建物、公共空間が調和を見せ、人が集い交流し豊かなコミュニケーションが形成され、人が循環する持続可能なまちの実現		
	②	成果内容	誰もが安心して暮らせる「活力あふれにぎわいのあるまちづくり」の実現			達成状況	JR吹田駅周辺については、駅周辺の地域住民、事業者及び来訪者にとってにぎわいのあるまちづくりに寄与した。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明		JR吹田駅周辺においては、NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会において、事業者など地域住民等が安心安全で住み続けたいまちとなるよう地域課題を共有し、まちづくりを推進している。他の地域については協議会等の設置にこだわることなく、事業者等と意見交換、情報共有を図り、地域の特性に応じた商業地づくりを支援していくことが必要である。本事業は商業振興施策を図るうえで重要な位置づけであり、市民生活の利便性が向上し、地域コミュニティの核となり得るので、今後も継続するものである。						

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	駅周辺活性化事業	事業区分	その他
事務事業番号	00242				

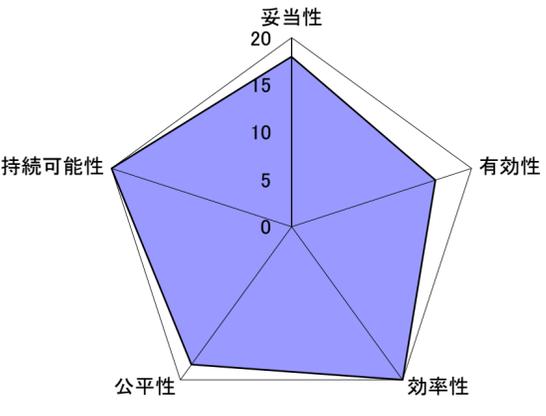
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
評価点合計 (100点満点)	92			

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00242
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>JR吹田駅周辺においては、NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会において、商業者など地域住民等が安心安全で住み続けたいまちとなるよう地域課題を共有し、まちづくりを推進している。またJR吹田駅周辺以外の駅周辺においては地域に応じた商業者と地域住民の協働のまちづくりを支援していくことが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	商業振興施設整備費積立事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和61年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	商店街等の事業協同組合、商店街振興組合												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	商業共同施設(アーケード等)を整備することにより快適で魅力ある商業地づくりを進める。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	集客力の向上による商店街等の活性化を図る。													
(7)	事業概要	商業共同施設(アーケード等)を整備することにより快適で魅力ある商業地づくりを進め、集客力の向上による商店街等の活性化を図る。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	3	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		78	161	108	118	49							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	83	80	84	84	82						
		総事業費(A+B)		161	241	192	202	131							
		特定財源(C)		78	161	108	0	49							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	78	161	108	0	49							
		市負担(D)		83	79	84	202	82							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	83		79	84	202	82									
財源計(C+D)		161	240	192	202	131									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	商店街の事業協同組合又は商業振興組合										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 預金利子等の基金積立額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	162.00	118.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	目標値なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.49	1.71	
				一般財源(単位:千円)	1.49	1.71	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	目標値なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 基金総額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	537,378.00	537,495.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	目標値なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	目標値なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		商店街等の団体が運営の改善や商業施設の整備などを検討する際、その費用の軽減を図る手段が他に見込めない状況で活用されるものであることから今後も継続する。				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	商業振興施設整備費積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00245				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00245
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>商業施設の整備を図ることにより、消費者の利便性が高まり、地域の商業活性化に効果が波及することから、積立事業は費用対効果も妥当と考える。 交付に関する業務は商業基盤施設整備事業補助金交付事業で実施。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	勤労者福祉共済給付事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正 内容	給付事業の内容変更											
(2)	直近の改正	平成10年度													
(3)	根拠法令等	勤労者福祉共済条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	従業員数が300人以下の企業の事業主及び従業員、従業員数が300人を超える場合は特定退職金共済制度に加入し、かつ1週間の所定労働時間が20時間以上のパートタイマー												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	福利厚生充実を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	勤労者の福祉の増進と事業所の振興に寄与する													
(7)	事業概要	吹田市勤労者福祉共済条例に基づき、市内の常用従業員300人以下の事業所を対象に、個々の事業所では実施困難な従業員の福利厚生を行う													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	7	款	1	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		14,085	12,590	14,310	11,642	13,748							
		人件費	職員数	人	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35						
			総額(B)	千円	2,989	1,636	3,044	3,044	3,120						
		総事業費(A+B)		17,074	14,226	17,354	14,686	16,868							
		特定財源(C)		14,085	14,225	14,133	11,642	13,748							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		14,085	14,225	14,133	11,642	13,748						
		市負担(D)		2,989	0	3,221	3,044	3,120							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		2,989	0	3,221	3,044	3,120						
一般財源			0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		17,074	14,225	17,354	14,686	16,868									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	申請件数	目標値	(単位:件)	899.00	894.00	870.00
			実績値	(単位:件)	668.00	640.00	/	
		達成度(%)		74.3	71.6			
	目標値の積算方法	過去の実績に基づく (過去3年間の平均×1.3)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	23.53	22.95		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	給付件数	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		申請件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	給付件数	目標値	(単位:件)	899.00	894.00
	実績値			(単位:件)	668.00	640.00	/	
	達成度(%)		74.3	71.6				
	目標値の積算方法	申請件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	23.53	22.95		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(4) 総合評価	②	指標内容	給付件数	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		申請件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		給付事業について、費用対効果を計るのは困難であるが、加入する事業所の従業員が長く働き続けられる職場環境を整えるための事業であり、今後も継続して実施する必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	勤労者福祉共済給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00246				

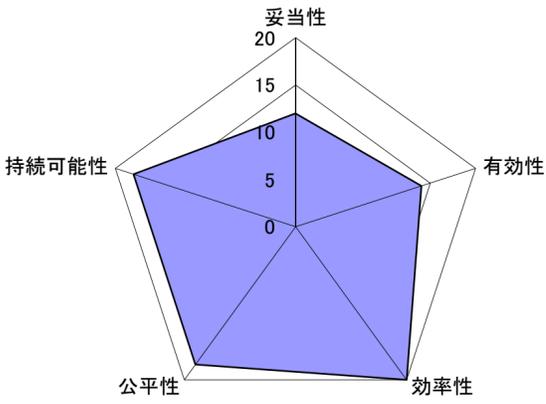
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00246
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市勤労者福祉共済条例に規定された事項について、加入者に対する給付金を支給する事業であり、掛金収入により安定した運営を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	勤労者福祉共済福利事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正 内容	福利メニューの内容変更											
(2)	直近の改正	平成20年度													
(3)	根拠法令等	勤労者福祉共済条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	従業員数が300人以下の企業の事業主及び従業員、従業員数が300人を超える場合は特定退職金共済制度に加入し、かつ1週間の所定労働時間が20時間以上のパートタイマー												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	福利厚生充実を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	勤労者の福祉の増進と事業所の振興に寄与する													
(7)	事業概要	吹田市勤労者福祉共済条例に基づき、市内の常用従業員300人以下の事業所を対象に、個々の事業所では実施困難な従業員の福利厚生を行う													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	7	款	1	項	1	目	2	大事業	1	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		10,843	9,732	7,574	6,930	7,549							
		人件費	職員数	人	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35						
			総額(B)	千円	2,989	1,636	3,044	3,044	3,120						
		総事業費(A+B)		13,832	11,368	10,618	9,974	10,669							
		特定財源(C)		10,843	10,319	7,574	6,930	7,549							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	10,843	10,319	7,574	6,930	7,549							
		市負担(D)		2,989	1,048	3,044	3,044	3,120							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	2,989		1,048	3,044	3,044	3,120									
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		13,832	11,367	10,618	9,974	10,669									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 福利事業利用対象人数	目標値	(単位:人)	2,242.00	2,231.00	2,263.00
			実績値	(単位:人)	2,150.00	2,232.00	
			達成度(%)		95.9	100.0	
	目標値の積算方法	被共済者数(各年度当初人数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.73	4.47
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		福利事業応募人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(3) が困難な場合		①	指標内容 福利事業応募人数	目標値	(単位:人)	3,410.00	2,786.00
	実績値			(単位:人)	3,237.00	3,411.00	
	達成度(%)			94.9	122.4		
	目標値の積算方法	福利事業応募口数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.81	2.92
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
①		活動内容				目標	
②	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		毎年、新規加入事業所があり、加入者の要望が事業に反映できる仕組みがあることで、加入者の満足度も高く、現況において、収入とのバランスも取れていることから、今後も継続して実施する。					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	勤労者福祉共済福利事業	事業区分	その他
事務事業番号	00247				

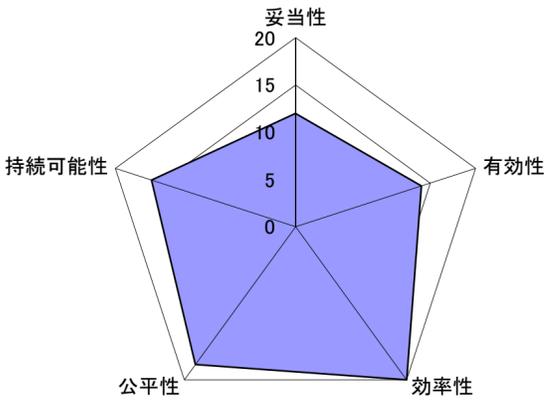
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00247
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市勤労者福祉共済条例に基づき設置される運営委員会の意見を反映しながら、掛金収入により安定した運営を行っている。各種の実施事業については、参加希望者も多いことから勤労者の福祉の増進に寄与していると考え。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	勤労者福祉共済積立金事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田市勤労者福祉共済基金条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活カあふれにぎわいのあるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	従業員数が300人以下の企業の事業主及び従業員。従業員数が300人を超える場合は特定退職金共済制度に加入し、かつ1週間の所定労働時間が20時間以上のパートタイマー												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	安定した事業運営を行うため												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	勤労者の福祉の増進と事業所の振興に寄与する													
(7)	事業概要	吹田市勤労者福祉共済基金条例に基づき、基金の運用から生ずる預金利子を積み立てる													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	7	款	1	項	1	目	2	大事業	1	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		12	17	12	17	12							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	86	47	87	87	90						
		総事業費(A+B)		98	64	99	104	102							
		特定財源(C)		12	64	12	17	12							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	12	64	12	17	12							
		市負担(D)		86	0	87	87	90							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	86	0	87	87	90							
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		98	64	99	104	102									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	吹田市勤労者福祉共済基金条例に基づいて、吹田市勤労者福祉共済基金の運用から生ずる預金利子を積み立てる			目標	安定した事業運営を行う	
	②	成果内容	吹田市勤労者福祉共済基金の安定運用			達成状況	達成状況を計るのは困難である	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田市勤労者福祉共済基金の安定運用の側面から、継続していく必要がある					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	勤労者福祉共済積立事業	事業区分	その他
事務事業番号	00248				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00248
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市勤労者福祉共済基金条例に基づき、基金の運用から生ずる預金利子を予測し、予算計上した上で基金に編入している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	商工振興施策検討事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市商工業振興対策協議会設置要領、吹田市商工振興ビジョン策定専門部会設置要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市内商工業者、市民												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	本市の商工業の振興に関する事項等について外部から必要な意見等を聴取する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市内産業の振興に資する。												
(7) 事業概要	商工振興施策に関する事項について検討や見直しを行うに当たって、吹田市商工業振興対策協議会等を開催し、外部から必要な意見等を聴取する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	2	小事業	9
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		699	553	1,603	1,305	569							
	人件費	職員数	人	0.60	0.70	0.60	0.60	0.35						
		総額(B)	千円	4,980	5,563	5,012	5,012	2,860						
	総事業費(A+B)		5,679	6,116	6,615	6,317	3,429							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		5,679	6,116	6,615	6,317	3,429							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		5,679	6,116	6,615	6,317	3,429								
財源計(C+D)		5,679	6,116	6,615	6,317	3,429								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 協議会等開催回数	目標値	(単位:回)	7.00	9.00	/
			実績値	(単位:回)	6.00	9.00	
		達成度(%)		85.7	100.0		
	目標値の積算方法 予算積算件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	887.17	701.89		
			一般財源(単位:千円)	887.17	701.89		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	協議会等において聴取した意見等が、より良い商工振興施策の推進につながっているか。			達成状況	数値化することは困難ではあるが、施策の推進状況に対する様々な意見等を聴取しながら、継続的な改善に努める必要がある。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>商工業振興対策協議会については、学識経験者、商工業関係者、消費者団体関係者、公募市民を委員として、本市の商工業振興に関する事項について外部から幅広く意見等を聴取することを目的としており、行政が市民、事業者及び経済団体等と協働して商工振興施策を推進していくうえでは非常に重要な役割を果たしている。</p> <p>また、商工振興ビジョン策定専門部会については、商工業振興対策協議会の下部組織として、平成28年度以降に必要となる新たなビジョンの策定に当たって必要な意見等を聴取することを目的として、平成26年度及び平成27年度の2年度間に限って設置していたものであり、平成28年3月31日をもって廃止している。</p> <p>平成28年度以降の専門部会または作業部会の設置等については、商工業振興対策協議会が新たな委員体制となる平成28年7月1日以降に検討を行っていく。</p>				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	商工振興施策検討事業	事業区分	その他
事務事業番号	00249				

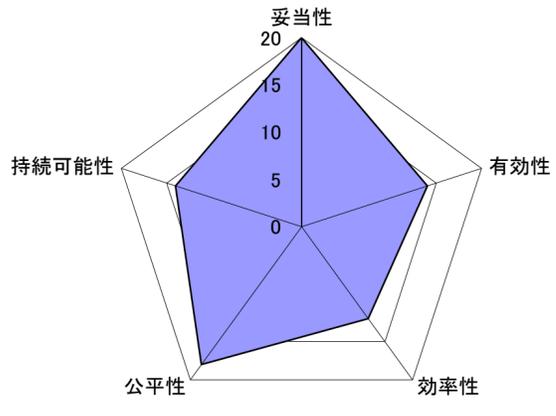
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00249
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	12	効率性	10	公平性	5	持続可能性	15
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	12														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>平成27年度においては、商工業振興対策協議会を4回、商工振興ビジョン策定専門部会を5回、開催しており、主にビジョンの策定に係る事項を議題として、各委員から幅広く必要な意見及び助言の聴取を行い、新たなビジョンである『吹田市商工振興ビジョン2025』を策定することができた。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市役所本庁舎内チャレンジャー育成事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	市役所本庁舎内チャレンジャー育成事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり											
	節	1												
	細節	20												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	新たに起業する個人で、店舗を必要とする飲食業を、市役所本庁舎内のチャレンジショップで出店する者。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)		市役所本庁舎内のチャレンジショップで、本格的に街で飲食業を開業する前段階として試験的に店舗を運営することにより、起業家のための学び、実践・成長の場とする											
(7) 事業概要	市役所本庁舎内地下にある喫茶室跡をチャレンジショップとして活用するため、出店者を公募し、出店前から市や商工会議所による支援を実施する。出店後においても、市や商工会議所によるフォローや店舗利用者などからの意見をフィードバックしながら、独立に向けての支援を一連的に実施することにより、起業家育成を図り地域経済の活性化に資する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		17	17	17	9	17							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		4,167	3,991	4,193	4,185	4,102							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,167	3,991	4,193	4,185	4,102							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,167	3,991	4,193	4,185	4,102								
財源計(C+D)		4,167	3,991	4,193	4,185	4,102								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	1年間の事業期間中、チャレンジショップでの出店者が本格的に街で飲食業を開業する前段階として試験的に運営することを市や商工会議所が支援しながら実施する			目標	店舗運営に必要な知識や技術を身に付けるなど、起業家育成を目標とする
	②	成果内容	店舗運営を通じて起業家育成を図り、本市の特性である開業率の高さ、チャレンジャーを育てるとい吹田市のまちのブランドを発信する。			達成状況	起業家育成を図ることにより地域経済の活性化に資する
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		チャレンジショップで店舗を運営することにより、市内商業地等での本格開業に向けて、店舗運営の手法・技術・課題などを学ぶことができ、ひいては起業を促進し地域経済の活性化に資するものであるため今後も継続する。				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	市役所本庁舎内チャレンジャー育成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00251				

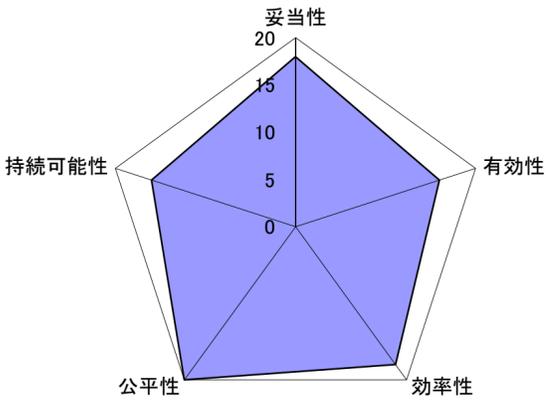
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	00251
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>チャレンジショップを活用し起業家育成を図っている事業である。商業相談を活用し、専門的な知識を持った中小企業診断士のアドバイスを受けながら、店舗運営を通じて学び・実践・成長の場となっている。起業家育成を図り、チャレンジャーを育成するまちのブランドのPRすることにより地域経済の活性化に資する。事業終了後の出店については、店舗が決まっていない状況で新たな開業には現段階では結びついていない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民農園関係事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正内容	助成金交付単価の見直し及び機構改革による改正、学童農園助成金交付追加											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市自主活動型市民農園整備運営事業補助金交付要綱等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活きあふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	50							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民農園開設農家及び利用者、学童農園協力農家											
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民農園開設農家への補助金交付による農業経営の安定と市民の余暇活動の場の確保。利用者栽培講習会開催による利用者の農業技術の向上。学童農園協力農家への助成金交付。 農地の保全と農業経営の安定が図られ、市民の豊かな余暇活動に寄与し、潤いのある都市農業の推進が図れる。また、学童農園の助成により市内小学生の農業理解を深めることができる。												
(7) 事業概要	農地の有効活用と市民が野菜や花の栽培を通じて土に親しむことができる市民農園を開設する農家に対して補助金を交付するとともに農園利用者への栽培講習会を開催する。 また、学童農園事業の協力農家に対して助成金を交付する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	6	項	1	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,048	1,869	3,122	2,583	3,320							
	人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40						
		総額(B)	千円	3,320	3,179	3,341	3,341	3,268						
	総事業費(A+B)		6,368	5,048	6,463	5,924	6,588							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	市負担(D)		6,368	5,048	6,463	5,924	6,588							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		6,368	5,048	6,463	5,924	6,588								
財源計(C+D)		6,368	5,048	6,463	5,924	6,588								
(10) 実施方法(該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	市民農園開設農家											
		②	学童農園協力農家											
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 栽培講習会開催	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	2.00	
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	予算の範囲	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,524.00	2,962.00	
				一般財源(単位:千円)		2,524.00	2,962.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 市民農園区画数	目標値	(単位:区画)	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
			実績値	(単位:区画)	811.00	845.00		
			達成度(%)		81.1	84.5		
	目標値の積算方法	第2次みどりの基本計画	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.22	7.01	
				一般財源(単位:千円)		6.22	7.01	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		土、太陽、自然とふれあう機会や食の安心、安全を求めて自ら野菜を栽培したいという市民ニーズは高く、農地保全、活用を図るという面からも継続すべき事業と考える。					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	市民農園関係事業	事業区分	その他
事務事業番号	01070				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	01070
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>必ずしも行政が主体であることが求められるものでないが、市民が自らの農地を耕作し、農作物を栽培したいというニーズは以前から高く、また農地の有効活用という面からも、事業を継続していく必要性がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地産地消の推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成8年度	改正 内容	営農指導事業、農作物特産品栽培奨励事業を統合											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	農家・農業団体・その他関係機関・団体、市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地産地消の推進を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	新鮮で安全な農作物を消費者に提供できる。市民の農業への理解を深めることができる。													
(7)	事業概要	①産業フェア等の吹田産農作物の即売事業の支援②特産品の「吹田くわい」栽培奨励、および販売の支援③いも掘園の利用者の斡旋④大阪エコ農産物推進⑤玄米による農作物品評会などを通じて吹田産農作物を吹田で消費する地産地消の推進を図る													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	6	項	1	目	3	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		454	282	379	294	359							
		人件費	職員数	人	0.74	0.70	0.74	0.74	0.74						
			総額(B)	千円	6,142	5,563	6,181	6,181	6,046						
		総事業費(A+B)		6,596	5,845	6,560	6,475	6,405							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		6,596	5,845	6,560	6,475	6,405							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			6,596	5,845	6,560	6,475	6,405								
財源計(C+D)		6,596	5,845	6,560	6,475	6,405									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	特産物栽培農家										
				②											
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 くわい作付面積	目標値	(単位:m ²)	2,000.00	2,000.00	2,000.00	
			実績値	(単位:m ²)	1,232.00	1,482.00		
			達成度(%)		61.6	74.1		
	目標値の積算方法	予算積算数値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4.74	4.37	
				一般財源(単位:千円)		4.74	4.37	
	②	指標内容 営農指導事業対象農家数	目標値	(単位:戸)	207.00	207.00	207.00	
			実績値	(単位:戸)	207.00	207.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
目標値の積算方法	市内農家数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		28.24	31.28		
			一般財源(単位:千円)		28.24	31.28		
(2) 成果指標	①	指標内容 大阪エコ農産物申請者数	目標値	(単位:延べ人数)	14.00	14.00	14.00	
			実績値	(単位:延べ人数)	14.00	14.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	前年度実績数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		417.50	462.50	
				一般財源(単位:千円)		417.50	462.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		農産物即売事業やいも掘り園の斡旋では、吹田の農産物を通じて、食の安心、安全を求める市民と農業者をつなぐことで市民への農業理解に役立ち、また農作物品評会では、吹田産の米の品質と農業者の生産意欲の向上に貢献している。さらに、農業者になにわの伝統野菜である「吹田くわい」の栽培の奨励する事業を通じて、「吹田くわい」の出荷を増やすことは、その関心を高めることに効果があると言える。これらの事業は地産地消を進めていく上で重要性が高く、今後も継続していくべきと考える。					

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	地産地消の推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01071				

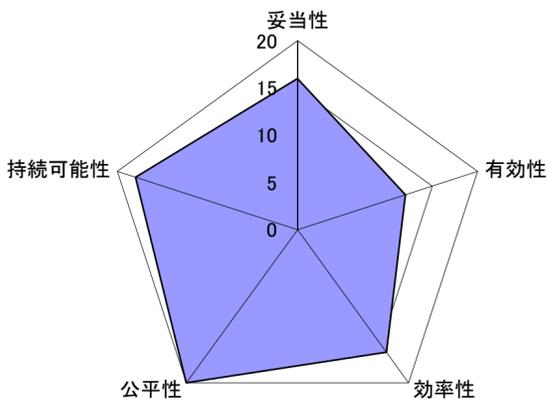
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	01071
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>安心、安全、新鮮な農産物を求める市民ニーズは高く、産業フェア、朝市を中心とした農産物即売事業は人気が高い。 また、農産物品評会の実施などは、農業技術の向上や都市農業の振興に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	労働事情調査事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	地域経済振興室	室課長名	大下 浩一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和51年度	改正 内容	調査対象事業所数の変更						
(2)	直近の改正	平成21年度								
(3)	根拠法令等									
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						
		一部にチェックした場合はその説明								
(5)	総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	2	細節	10		
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
		範囲等	産業・規模別に抽出した事業所							
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市内事業所の労働条件等の実態を把握する							
	結果 (どのような効果が得られるのか)	労働者の安定した生活と福祉の向上に寄与する								
(7)	事業概要	労働条件等の改善・整備を図るために、抽出した市内事業所を対象として、3年毎に職場環境等の調査を実施しており、平成27年度は該当年であったため実施した 市内事業所における実態把握を行い、調査報告書を作成・提供することにより、適正な就労環境の整備を促し、労働施策の参考とする								
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)		0	0	306	114	0		
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.30	0.30	0.00	
			総額(B)	千円	0	0	2,506	2,412	0	
		総事業費(A+B)		0	0	2,812	2,526	0		
		特定財源(C)		0	0	0	0	0		
		(内訳)	国		0	0	0	0	0	
			府		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	0	
		市負担(D)		0	0	306	114	0		
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	0	
一般財源			0	0	306	114	0			
財源計(C+D)		0	0	306	114	0				
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①						
				②						
				③						
		主な委託内容								
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①								
		②								
		③								
<input type="checkbox"/> その他	内容									

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 調査対象事業所	目標値	(単位:社)	0.00	1,000.00	0.00
			実績値	(単位:社)	0.00	1,000.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	調査対象事業所	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.11	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.11	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		調査対象事業所	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 調査回答事業所	目標値	(単位:社)	0.00	1,000.00
	実績値			(単位:社)	0.00	270.00	
	達成度(%)			0.0	27.0		
	目標値の積算方法	調査対象事業所	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.42	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.42	
	(3) が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		調査対象事業所	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市内事業所における職場環境等の実態を把握し、回答者にフィードバックすることで、適正な就労環境等の整備に対する啓発を行うことのほか、市域の事業所が抱える課題を今後の施策や事業として反映することができるようにするための調査であり、今後も継続して実施する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	地域経済振興室	事業名	労働事情調査事業	事業区分	その他
事務事業番号	01288				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域経済振興室	事務事業番号	01288
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内全事業所から、産業別・規模別の全体割合を考慮しつつ、無作為抽出を行っており、その結果から職場環境等の状況をうかがい知ることが可能である。 平成27年度は、調査対象を500から1,000事業に拡充して実施した。次回は平成30年度に実施予定。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)